

平成28年度
第1回北区まちづくり協議会全体会

会 議 録

日 時：平成28年8月30日（火）午後2時30分開会
場 所：札幌サンプラザ「金枝の間」

1 開会

○司会（宇賀治市民部長）

2 あいさつ

○座長（新琴似連合町内会 虻川会長）

○藤井北区長

3 講演

○演題：「災害・危機に備えて～災害時における住民組織の役割など」

○講師：危機管理対策室危機管理対策課 坂上課長

地震があった場合、その場所その場所で危険要因が変わってくる。必ずテーブルの下が安全だとは限らない。地震だけでなく、他の災害においても自分がいる場所で、どんな危険要因があるかを普段から気にしていただき、固定観念を持たずに、その都度対応していく体制が必要である。

震度階級は0～7まであり、震度5と6は強弱に分かれるため、全部で10段階ある。

国内で地震は年間何回起こっているか。震度1以上の有感地震は2,000回ほど起こっている。ただし、東日本や熊本のように大きな地震があった年は1万回を超えることがある。札幌市内は平均10回程度である。近年の国内の震度6強以上の地震は6件ある。

熊本地震では、4月から8月末までに札幌市から300人以上の職員が派遣されている。この地震には2つの断層帯が動いたと言われているが、この2つの断層帯がぶつかるあたりに一番被害が大きかった益城町があった。熊本の住宅は北海道の住宅と違い、屋根に重たい瓦を乗せており、かつ、壁が薄いということもあり、揺さぶられてつぶれてしまった住宅が多かった。

北海道には活断層が9つあると言われており、札幌近郊では「石狩低地東縁断層帯」がある。この断層帯が動くと、市内でも最大震度6弱が起こる可能性がある。札幌市内の断層は、過去の地質調査の結果、過去の地震の跡などにより、地下に3つの伏在活断層があるのではないかと想定されている。もしこれらの断層が動いた場合、市内でも最大震度7の地震が起こると言われている。この想定は、この3つの伏在活断層のうち月寒断層を震源、厳冬期と仮定したもので、死者は8,000人を超えている。このうち凍死者は約6000人。避難者は11万人となっている。札幌市の備蓄はこの数字に基づいて行われている。

《ビデオ上映～札幌大地震》

災害が起きるのは自然現象であるが、災害が起こる前にどうするか、起きたらどうするか、ということ把握しておくことが必要である。まずは身の安全を守ること。阪神淡路大震災では亡くなられた90%以上の方が揺れてからすぐに亡くなっている。建物の倒壊や家具が倒れてきたためである。自宅であればテーブルの下でもいい。スーパーなどではバックで頭を守る。屋外では、塀や電柱の倒壊、看板やビルの外壁の落下にも注意する。電車の中では手すり等につかまる。車の運転中はゆっくり停車し、ラジオ等で情報を得るとともに、避難が必要な場合は、カギをつけたまま逃げる。自宅においては、揺れが収まったら、次の揺れに備えて玄関のドアを開けて避難口を確保する。避難するときには、電気のブレーカー、ガスの元

栓を閉める。近所へ声掛けするなどが必要。

平成 27 年度に実施した市民アンケートでは、地震が心配という人が 70%。災害に備え何か対策をしているかという問いには、何もしていないという人が 30%以上いる。なぜ対策をしないのかというと、「自分は大丈夫」だと思っているからで、これを「正常化の偏見」という。札幌のように地震が少ない地域ではこういう傾向が強い。

食糧の備蓄について、長期保存がきく食糧をわざわざ買うよりも、普段の買い物の中で少し多めに買って、それを消費しながらそのサイクルの中で備蓄するのがよいのではないか。

風水害について、先々週から 3 つの台風がきて札幌市も避難準備情報を出したところである。今回は大きな被害はなかったが、過去には、昭和 56 年に台風が 2 つきて大きな災害となったり、平成 16 年には風台風がきて 4 人の死者が出た。記憶に新しいところでは、平成 26 年 9 月の豪雨では国内で初めて大雨特別警報が出され、農業被害等も大きかった。

《ビデオ上映～豊平川氾濫》

雨や風などの災害の際には、それに先行して必ず気象情報が出る。大雨注意報、大雨警報など。これを受けて札幌市は、被害が出ると判断した際に避難情報を出している。避難情報は広報車や消防車などでも呼びかけるが、屋外では聞こえにくく、緊急速報メールも併用している。被害が直接関係のない区域にもメールがいき、また、何度も同様のメールがいくため、何とかならないのかといったお叱りを受ける時もある。ただし、避難区域に家族や知人がいる場合や勤務先や通学先の場合もある。その際には危ないから行くのを止めるという判断もできる。このことから安全確保のため、市内全域にメールを配信していることをご理解いただきたい。

<質疑なし>

4 北区役所職員による熊本避難所支援の事例紹介

本年 4 月から 5 月にかけて北区役所から熊本市に設置された避難所へ派遣された職員 3 名から、それぞれ派遣された避難所での運営支援に関する事例紹介を行った。

5 閉会

○司会（宇賀治市民部長）